

私のお念佛

仙壯宮嶼千秋



新年あけましておめでとうございます。

になりました。

力いづまいてはたうへていてくださいる正処ごと思  
るのは、わたし生れ出る前から、一人一人に  
かけられたお慈悲のお光が、ひとりひとり別々に  
かかるお慈悲をあらためて思わさせていただくこ  
とが出来ました。

わたしたち、生を受けたそのときから、それぞ  
れに別々の、恵まれた特徴を与えていたといてい  
るよう思います。

そんなことは、限りなく続いている  
いかということ、ずっとおお昔から続いていく  
ちが、限りなく続いている  
そんなことには関係なしに、何か、おおきないの  
だとおきないの

それにひきかえ私のこころは、きのう喜こんでいたかと思うと今日ははや泣いている。きのう愛し合つていたかと思うと今日はもう憎しみ合つている。まことに頼りないめまぐるしく変りどおりの生きざまであることを思わざるをえません。生れた時にはおめでたいと喜び、死ぬるときはなげき悲しみますが、ほんとうの理想は、生れた時も死ぬるときも、めでたくあるような、そんな人生でありたいと願わざるをえません。わたくし事で申しわけないのですが、私の曾祖母は九十二歳の高令で世を去りました。亡くなるとき、めでたいのだといつて紅白のまんじゅうをくばつてお祝いをしたと聞いております。

お釈迦さまは「すべてのものは移り変る。だから、つとめはげみなさい」と教えられたと聞かせていただいています。

テレホン法語

ありがとうございます

若い者は朝早くからそれそれはたら  
きに出ていつてしまします。夕方六  
時すぎまでは私ひとりで寝ておりま  
す。  
おかげで自分のことぐらいはガサ  
ガサいざりながらでも何とかできま  
すので、有難いことです。  
だれもが出て行つてしまつてから、  
お仏壇でおつとめをさせていただき  
ます。  
去年までは何とか目も見え手も自  
由がきましたので、一日中編物な  
どをしておりましたが、今はとても  
出来ません。それで私の仕事といふ

あるお年寄りが「私は何のとりあえもありませんたゞ世話になるばかりでもつたないことです」と申されました。美しいことばではありませんかほれぼします。

この美しいことばを私も日々のくらしにあらわしたいものです。

今年も阿弥陀さまから恵まれたひとりひとりのいのちを、よく自覚し、そのご恩のなかの充実したいのちをくらしたいものだと、お念佛を通して誓わせていたゞいております。

この私のいのちをはぐくみ育ててくださる「無量寿」阿弥陀さまのお光を思い聴聞できる機会を一度でも多くいたゞきたいと念じております。

人間の生死は自分の考えている通りにはなりません。少でも悔をのこさない生活をつぶけて、めでたく世を去りたいものだと思います。

して、めでたくすごしたいものであります。

たら、お仏壇でお礼をして、それからテレホン法話をあじあわさせていただくことです。

六十三年度

A decorative illustration featuring a stylized flower with a yellow center and dark petals, surrounded by green leaves and stems.

「おばあちゃん。ここナ、このボタンボンと押すだけで聞こえるようになつてゐるのや。それでご法話が終つたらひとりでにカチヤンと止まるようになつてゐるのや。また聞きたかつたらまた同じボタン押したらなんべんでも聞こえるんで。」

「おばあちゃん、一人おつても、ほとけさんといつしよのくらしやなええなあ」といふ言いまして、私の寝床の横に機械をおいてくれています。

それで私、朝おつとめすんだら、それからそこへ行つていつべん聞かせてもらいます。

いつ聞いても、何べん聞いても、ほんとやはんとや・みんな私に説いてくださるご法話です。

こないだは、親せきの者が見舞に来てくれて話のついでに、孫の録音してくれた機械でテレビホン法話を聞かせてやりました。

そしたらびっくりして、「おばあちゃんの病んでいてもこない明るいのは、これやつたんやナ」と感心して、またいつしよに聞かせてもらいました。

どんなに年寄つても病んでも、如来さまのおび声のなか

このごろは、ほんとに便利になつて有難いことです。孫娘のおかげで、如来さまといつもいよいにくらさせていただいております。

六月	二十三日	春季彼岸会・仏壯仏婦合同役員会
十四日	十一・二日	出石組念仏奉仕団
二十四日	十八日	仏婦総連盟総会
二十四日	二十一日	玉日会降誕会
五月	二十四日	出石組「連研」
六月	二十一日	降誕会
七月	四・五日	仏壯仏婦研修旅行
八月	十一日	出石組組会
九月	十九日	出石組仏婦連盟総会
十月	三十一日	永代経法要 仏婦総会
十一月	八・九日	出石組「連研」
九日	盆参り	
十一月	四日	出石組総代研修会
十八日	二十五日	出石組「連研」
二二一・二日	二十六日	秋季彼岸会
十二月	九日	別修（敬老）報恩講
		教区仏婦三十周年記念大会
		報恩講

勝林寺寺報

毎月一日発行。八年目を迎えました。みのりの歓びの交流、仏教仏婦の連絡。その他の通知など。ご門徒以外の人にもすすめてください。

勝林寺テレホン法語

出石局5800。六年目を迎えました。一日・十日・二十日に法話が變ります。

みのりを聞く会

毎月二十五日の夜の開法会です。  
二十年ほど続いております。  
どうぞお参りください。

十六夜会（いさよい会）

出石町内佛教若婦人の会です。  
毎月十六日夜が例会です。会場は八  
月まで西方寺、九月から高福寺。

玉日会

出石町内佛教婦人の集いです。  
毎月十日昼二時から例会。今年一月  
から本堂寺が会場です

つどおう  
聞こう

かたろう



